

クラウドネイティブを支える ネットワーク技術

日時：令和3年9月15日（木）9:00～11:45
開催：オンライン開催 Meeting 14

主催：ネットワークシステム研専

要旨：

近年、アプリケーション開発のクラウドネイティブ化が加速している。ビジネス環境の急激な変化に対応するためには、クラウドサービスを活用したシステム構築が必要不可欠である。一方で、従来のインフラ構築のスピードでは、ビジネススピードに追従できない問題もある。

本企画セッションでは、アプリ開発者とインフラ運用者の両方の視点から、クラウドネイティブを支える最新技術や課題について幅広く共有、議論を行う。

プログラム：

座長・司会：西島 孝通 富士通

講演時間：各 25 分

座長挨拶：5 分

講演

川島 龍太 名古屋工業大学

金井 謙治 早稲田大学

宮澤 高也 NICT

休憩（10分）

井出 貴也 日立製作所

篠原 健太 NTT

総合討論

11時20分より開始

※講演内容は予定であり、詳細は今後変更となる可能性があります

※最新情報は大会ホームページをご覧ください



【申込方法】

参加申込は大会ホームページより

<https://www.ieice-taikai.jp/2021society/jpn/index.html>

締切：令和3年8月26日（木）



【問い合わせ先】

一般社団法人 電子情報通信学会

ネットワークシステム研専 幹事団

E-mail : ns-secretariat@mail.ieice.org

講演者（講演順）



【講演題目】ソフトウェア指向による高性能クラウドネットワーキングへの展望

【講演者】川島 龍太（名古屋工業大学）

【概要】

5Gや6Gなどの次世代ネットワークの進展に向けて、クラウドネイティブな性質を持つソフトウェア中心のネットワーキング技術の重要性と高性能化に向けた課題を紹介する。



【講演題目】ThingVisor Factory : クラウドネイティブなIoTサービス構築システム

【講演者】金井 謙治（早稲田大学）

【概要】

本講演では、講演者らが研究開発を進めているIoTデバイスやIoTサービスをエッジ・クラウド基盤上で相互運用可能とするためのクラウドネイティブなIoTサービスを構築するシステムについて紹介する。



【講演題目】クラウドネイティブ環境における計算機リソース自動制御管理技術への取り組み

【講演者】宮澤 高也（国立研究開発法人 情報通信研究機構）

【概要】

クラウドネイティブ化が急速に進むサーバ仮想化環境を含む通信ネットワーク基盤においては、多種多様化するアプリケーションサービス要件に対応し、かつサーバワークロード変動や障害検知時に迅速に対応すべく、計算機リソース制御管理の自動化・高速化が必要である。当該技術へのNICTの取り組みについて紹介する。



【講演題目】分割多変量テスト: マイクロサービス型システムにおける干渉を回避した複数A/Bテストの実行方式

【講演者】井出 貴也（株式会社日立製作所）

【概要】

マイクロサービス型システムのような複数サービスからなるシステムで複数のA/Bテストが同時に行われると、互いのテストが干渉して正確な結果が得られない恐れがある。本研究はマイクロサービス型システムにおいて、複数のA/Bテストを実行可能な方式として分割多変量テスト提案する。



【講演題目】キャリアサービスへのクラウドネイティブ技術導入に向けた研究

【講演者】篠原 健太（日本電信電話株式会社）

【概要】

近年、キャリアにおけるネットワーク機能の仮想化がNFVを中心に進められているが、商用導入を推進する中でハードウェアとソフトウェアの分離が不十分なことによるコスト削減や運用性向上といった期待に反して様々な課題と直面しているという指摘があり、更なる改善が必要となっている。本報告では我々がクラウドネイティブ技術を活用し、これら課題の解決に向けて実施している3つの取り組みについて紹介する。

